

福島県立南会津病院の概要

平成25年7月9日

1 当院の基本姿勢

(1) 県立病院基本理念

- ・ 親切、信頼、進歩

(2) 当院の基本理念 (H23. 5. 24 改訂)

地域の皆様に信頼され、愛され、親しまれる病院

そのために私たちは、

- 1 地域の皆様の要望に応え、医療・保健・福祉機関と連携し、総合的な医療を提供します。
- 2 南会津地域の唯一の病院として、へき地医療の中心的役割を担います。
- 3 救急病院、地域災害医療センターとしての責務を果たします。
- 4 良質で安全な医療を提供するとともに、県立病院としての公共性を確保し、健全な病院経営に努めます。

(3) 患者の皆様の権利に関する県立南会津病院宣言 (H18. 5. 31 改訂)

- ① 皆様は必要かつ最善の医療を公平に受ける権利を有します
- ② 皆様は診療内容、治療方針とその危険性や副作用などの十分な説明を受ける権利を有します (ただし、必要に応じて主治医の判断により、ご家族や代理の方にお話しする場合があります)
- ③ 皆様は診療行為に対し、十分な説明を受けて、ご自身の意志により同意または拒否する権利を有します
- ④ 皆様はプライバシーが尊重される権利を有します
- ⑤ 皆様は今受けている検査、処置、治療、食事、看護、他の医療機関への転院、セカンド・オピニオンなどについて、ご自身の希望を述べる権利を有します

2 医療圏

(1) 南会津医療圏 3町1村 (下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)

(2) 人口

H25. 4. 1 現在の推計人口 28,499人 (県人口の1.5%、H17比で14.0%減)

H24. 4. 1 現在の推計人口 29,064人 ※ 8年間で4,636人の減少

H23. 4. 1 現在の推計人口 29,571人

H22. 4. 1 現在の推計人口 30,281人

H21. 4. 1 現在の推計人口 30,832人

H20. 4. 1 現在の推計人口 31,422人

H19. 4. 1 現在の推計人口 32,019人

H18. 4. 1 現在の推計人口 32,594人

H17. 4. 1 現在の推計人口 33,135人

(3) 高齢化率		
65歳以上人口の構成比	37.6% (県平均 26.6%)	(H25. 4. 1 現在推計)
	36.9% (県平均 25.6%)	(H24. 4. 1 現在推計)
	36.7% (県平均 25.0%)	(H23. 4. 1 現在推計)
	36.7% (県平均 24.9%)	(H22. 4. 1 現在推計)
	36.3% (県平均 24.5%)	(H21. 4. 1 現在推計)
75歳以上人口の構成比	23.4% (県平均 14.6%)	(H25. 4. 1 現在推計)
	22.8% (県平均 14.2%)	(H24. 4. 1 現在推計)
	22.3% (県平均 13.8%)	(H23. 4. 1 現在推計)
	21.7% (県平均 13.3%)	(H22. 4. 1 現在推計)
	20.9% (県平均 12.9%)	(H21. 4. 1 現在推計)

- (4) 面積 2,341.64km² (県土の17%、神奈川県に匹敵)
尾瀬国立公園、越後三山只見国定公園、大川羽鳥及び只見柳津県立自然公園
森林地帯 約93%
特別豪雪地帯：南会津町のうち旧伊南村、旧南郷村、旧館岩村の区域、只見町、
下郷町、檜枝岐村
豪雪地帯：南会津町のうち旧田島町の区域

3 南会津地域保健医療圏医療機関等 (H25. 4. 1 現在)

- (1) 病院 1
- (2) 診療所 15：公営 3 (只見町、檜枝岐村、南会津町)
民営 12 (南会津町 10、下郷町 2) ※特別養護老人ホーム、保健所を除く
※ 内、みなみあいづ眼科は休止中
- (3) 社会福祉施設
- (ア) 介護老人福祉施設 5 (南会津町 3、下郷町 1、只見町 1) ※協力病院として協定
(イ) 介護老人保健施設 2 (南会津町、只見町)
(ウ) 訪問看護 4 (南会津町 2、下郷町、只見町)
(エ) グループホーム 3 (南会津町、下郷町、只見町)

4 当院の病床数及び診療科等

- (1) 許可病床数 98床 (H25. 4. 1 変更←H21. 3. 31 変更 (100床) ←150床)
- (2) 診療科
内科、(神経内科)、外科、(産婦人科)、小児科、整形外科、(皮膚科)、
(泌尿器科)、(耳鼻咽喉科)、(眼科)、(神経精神科)、麻酔科
- (3) 医師数
- (ア) 常勤医 11名
内科 (5名)、外科 (2名)、整形外科 (2名)、麻酔科 (1名)、小児科 (1名)
- (イ) 非常勤医 18名
神経内科 1名 (隔週金曜日 会津医療センターより)
内科 (透析) 1名 (毎週月曜日 福島南循環器科病院より)
耳鼻咽喉科・外科 1名 (随時 アベクリニックより)
※ 外科の手術応援
産婦人科 1名 (毎週木曜日 会津中央病院より)
※ 4名交代で対応

小 児 科	1 名	(毎週木・金曜日 県立医科大学医局より) ※ 2名交代で対応
整 形 外 科	3 名	(毎週水曜日、第1・第3木曜日、臨時 県立医科大学医局より) ※ 水：1名、第1・3木：1名、臨時：1名 ※ 毎週水曜日の1名は2名交代で対応
耳 鼻 咽 喉 科	3 名	(毎週月・水曜日、第1・第3・第5金曜日 会津医療センターより) ※ 月：1名、水：1名、第1・3・5金：1名
皮 膚 科	2 名	(第1・第3木曜日 たてうまクリニックより) (第2木曜日 会津医療センターより)
泌 尿 器 科	1 名	(第2・4火曜日 東邦大学より)
眼 科	2 名	(毎週月曜日 県立医科大学医局より) (毎週金曜日 竹田綜合病院より)
神 経 精 神 科	1 名	(隔週火曜日 県立矢吹病院より)
検 査	1 名	(毎週火曜日 地域医療支援センターより)

(4) 他院への診療応援

整形外科	(毎月第1、第3木曜日 只見町朝日診療所へ)
小児科	(毎月第2、第4金曜日 竹田綜合病院へ)
麻酔科	(毎週火曜日、会津医療センターへ)
日 当 直	(随時 只見町朝日診療所へ)

5 各種研修の受入

(1) 協力型医師臨床研修病院

県立医科大学：平成18年度 2年目 2名(各3か月)受入、
平成23年度 2年目 1名(1か月)受入
平成25年度 2年目 1名(1か月)受入予定

(2) 医学部学生研修受入

自治医科大学：地域医療実習(5年生)
平成20年度 2名、平成21年度 1名、平成22年度 3名
平成23年度 2名、平成24年度 3名、平成25年度 2名予定
夏期体験実習(1~4年生)
平成22年度 10名、平成25年度 11名予定
県立医科大学：6年生BSLアドバンストコース
H18年度 6名、H19年度 6名、H20年度 4名
H21年度 3名、H22年度 4名、H23年度 1名

(3) 家庭医研修プログラム受入

県立医大の後期研修プログラム「家庭医療学専門医コース」の研修医受入
(H19.4.1~H20.3.31：高澤奈緒美、H20.5.1~H21.3.31：井上みき)

(4) その他

母性看護学実習(会津若松看護専門学院)、薬学部学生の病院実習(東北大学薬学部、新潟薬科大学、北陸大学、共立薬科大学)、理学療法の実習(東北文化学園大学、江戸川医療専門学校)、養護教員実習(國學院大學栃木短期大学)などの受入実績

6 救急活動

(1) 救急告示病院 (H11.4月～ : H23.4～3年間)

(2) 体制

医師 : 土・日・祝日の日勤帯2名、全日の夜間1名
看護師 : 土・日・祝日の日勤帯2～3名、全日の準夜帯2名、深夜帯1名
放射線技師 : 土・日・祝日の日勤帯1名
医療事務 : 土・日・祝日の日勤帯1名
(ゴールデン・ウィーク及び年末年始は会計も可)
薬剤師 : 日・祝日の日勤帯1名 (H19.7.15より)

(3) 活動実績

救急車搬送件数	<u>平成24年度</u>	<u>825人</u>
	平成23年度	807人
	平成22年度	702人
	平成21年度	691人

(参考) 南会津地方広域市町村圏組合消防本部の救急搬送人員

<u>平成24年</u>	<u>1,634人</u>	<u>(管内搬送は57.0%)</u>
平成23年	1,522人	(管内搬送は59.5%)
平成22年	1,491人	(管内搬送は55.7%)
平成21年	1,367人	(管内搬送は56.0%)

時間外取扱患者数	<u>平成24年度</u>	<u>4,573人</u>
	平成23年度	4,424人
	平成22年度	3,830人
	平成21年度	3,834人

消防防災への受入れ状況

<u>平成24年</u>	<u>12回受入</u>
平成22年	9回受入
平成22年	14回受入
平成21年	10回受入

救急医療連携医療機関 会津中央病院・救命救急センター、竹田総合病院、
会津医療センター、(結核、精神科等は特定医療機関と連携)

7 人工透析

(1) 実施体制 1日2クールで実施(月・水・金) ※ 火・木・土は1クールのみ
【1クール : 9:00～、2クール : 13:00～】

(2) 患者数(平成25年6月現在)

当院の実患者数 41名
当院の延べ患者数 501名/月

(参考) 医療圏域内の患者数(平成20年1月調査) 67名
(下郷町22名、檜枝岐村1名、只見町4名、南会津町36名、その他4名)

(3) 設備状況

透析機器 19台

(平成19年9月から12台で運用していたが、増床工事を行い平成22年4月から7台増設した)

8 医療機関・自治体等との連携

- (1) 各種健（検）診、機能回復訓練事業、予防接種、健康教室、巡回相談、研修会、献血バス等
- (2) 病病連携：CT・MRI 読影システムを導入し専門医による診断の迅速化)
- (3) 病診連携：CT、MRI、検体検査の委託受入（地元開業医等）
- (4) 各種勉強会等の開催：南会津学術セミナー、南会津救急懇話会、院内感染対策勉強会、小児医療相談会など
- (5) 医療相談員の配置：紹介・逆紹介に伴う患者情報の管理と活用・紹介元への返信を医事で一括管理

9 病院機能評価の受審

平成 17 年度に（財）日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審
平成 18 年 3 月 20 日認定（Ver. 5、認定期間：H18. 3. 20～H23. 3. 19）
平成 22 年度に更新認定のため受審（H22. 12. 8～10 に訪問審査を実施）
平成 23 年 4 月 1 日認定（Ver. 6、認定期間：H23. 3. 20～H28. 3. 19）

10 経営改善

- (1) 県立病院改革プランにかかる当院の主な取り組み

- 指針 1 良質な医療サービスの提供
透析機器の増設、人間ドックの増、患者満足度の維持
- 指針 2 収益確保と費用の削減による健全な病院経営
未収金残高の減少、診療材料費等の削減等
- 指針 3 地域との連携・共生
地域医師会等との懇談会の開催、病院広報紙の作成等
- 指針 4 医療提供体制の充実
臨床研修医の受入、医療安全研修会参加率の向上
- 指針 5 職員の資質向上と人材育成
資格取得支援、職員提案制度の活用

- (2) 行動指針（毎年度、職員から公募し採用者を表彰）

- H25 ○ 目を合わせ 交わすあいさつ 笑顔の目（アイ）言葉
- 高めよう コスト意識 改善しよう 病院経営
- 届けよう 笑顔と誠意 地域の人に
- 甘んじない 急がば回れ いつでもどこでも 5S の精神
- みつつ、よつつと経験重ね 実績積んで 自己力アップ

- (3) 職員提案

職員の業務改善意識の醸成のため、毎年 2 月を職員提案月間と定めた。

- (4) あいさつ月間

接遇向上ため、平成 22 年度から、毎年 11 月をあいさつ月間と定めた。